2月20日（土）

第1会場	16：30〜18：00　パネルディスカッション
2階　講堂	デバイスラグ／デバイスギャップ問題の現状

【概要】

わが国で利用できるデバイスの数は諸外国に比べ半分とされている。この事実をどの程度の医師や国民が知っているのだろうか。たとえ，デバイスラグ・デバイスギャップという問題があることは知っていたとしても，詳細について知る人は少ない。本セッションではデバイスラグ・デバイスギャップの問題を取り上げ，その現状を理解し，問題の解決にはどうすべきか，以下のような演題・演者を予定し，本問題をどのように対処すべきか方向性を考える。日本のデバイス治療にかかわる大きな問題であり，多くの皆様の参集をお願いしたい。

〔座長〕水谷　　登　愛知医科大学循環器内科
　　杉　　薫　東邦大学医療センター大橋病院循環器内科

1. デバイスラグとは？
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科　○松本　万夫

2. デバイスの薬事承認の過程（本邦と海外の比較）
ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社
ガバメント・アフェアーズ　○田村　　誠

3. デバイスの保険収載の過程（本邦と海外の比較）
広島大学病院心臓血管外科　○今井　克彦

4. 厚生労働省の現在までの対策
厚生労働省医政局経済課医療機器政策室　○池田千絵子

総合討論・質疑応答